

おいらせ町総合教育会議 議事録

開催年月日	令和3年2月5日(金)			
開催場所	おいらせ町役場本庁舎2階庁議室			
開 会	午後2時55分	閉会	午後4時19分	
出席者	職名	氏名	職名	氏名
	町 長	成田 隆	副町長	小向 仁生
	教 育 長	松林 義一	教育長職務代理者	小向 秀男
	教育委員	松林 正幸	教育委員	浅野 邦子
	教育委員	木村 啓一		
事務局 関係課	(総務課)			
	課 長	西館 道幸	課長補佐	鈴木 政康
	主 幹	成田 和久		
	(学務課)			
	課 長	柏崎 和紀	課長補佐	堤 雅之
	指導室室長	藤森 裕之		
	(社会教育・体育課)			
	課 長	松山 公士		
	(財政管財課)			
	課 長	岡本 啓一		
	(まちづくり防災課)			
	課 長	成田 光寿		
	次 第	1 開会 2 町長あいさつ 3 議事 1. 学校における特別支援等について 2. 児童生徒の安全対策について 4 意見交換 5 閉会		

会 議 記 録	
発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局 (総務課)	<p>○開会</p> <p>(修礼)</p> <p>皆様お揃いになりましたので、ただいまから、おいらせ町総合教育会議を始めます。</p> <p>修礼を行いますので、ご起立ください。</p> <p>(礼) よろしく申し上げます。</p> <p>ご着席ください。本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。次第に沿って進めさせていただきます。はじめに町長からあいさつをお願いします。</p>
町 長	<p>○町長あいさつ</p> <p>皆さんこんにちは。ここ2、3日、寒い日が続いて過ごしにくかったことと思います。町としても今年の豪雪によって、当初予算の3倍の除雪費がかかり、予算の割り振りに苦慮しておりますが、なんとか凌いでいかなければと思っております。また、この寒さも影響しているのか、木ノ下中学校1年生が交通事故で亡くなってしまいました。日ごろから交通事故には気を付けさせているつもりですが、とても残念で申し訳なく思っております。ご家族や関係者の皆様には心からお見舞い申し上げます。世の中、本当に思ったようにならないと実感しています。事故や大雪、そしてコロナとなかなか収まらない状況ではありますが、教育委員の皆様には、日ごろの活動に感謝申し</p>

会 議 記 録	
	<p>上げるとともに、これからのより良いおいらせ町を作るためにご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。今日の案件は2件ですが、限られた予算の中で要望どおりにいかない部分もありますが、ご意見等を伺いながら良い方向に向かえればと思っております。限られた時間ですが、よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>事 務 局 (総務課)</p>	<p>○ 議 事</p> <p>それでは議事に入ります。議事の1「学校における特別支援等について」学務課から説明をお願いします。</p>
<p>学 務 課</p>	<p>議 事 1</p> <p>学校における特別支援等について</p> <p>(資料を説明)</p>
<p>事 務 局 (総務課)</p>	<p>ただいま説明がありましたが、皆様からご意見、ご質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>副 町 長</p>	<p>確認です。資料1ページの特別な支援が必要となる児童生徒が6～7%程度の割合は、昔から見ると多くなっているのでしょうか。</p>
<p>学 務 課</p>	<p>調べ始めた当初は、4～6%という話で始まりました。10年くらい前の数字で6～7%といわれています。</p>
<p>副 町 長</p>	<p>ちなみに、私たちが小学生のころもあったのでしょうか。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>あったと思います。あったはずです。ある時を境に、文部科学省の考え方が大きく変わり、そういう児童生徒に焦点をあて、しっかりと</p>

会 議 記 録	
	支援しなさいとなりました。
松 林 委 員	おいらせ町の支援員の人数が20人で、児童生徒数に対する割合として、それに近いのが三沢市さんで53人ですが、上十三市町村の中でおいらせ町の支援員の数少なすぎると思いませんか。
町 長	おいらせ町は児童生徒数に対して、手のかかる子どもが少ないということではないのでしょうか。
松 林 委 員	資料にありますが、各学校からの要望からもわかるように、少ないとは言えないと思いますが。
教 育 長	各学校の判断で、支援が必要な子ども1人に支援員1人を付ける要望となっていると思います。おそらく各学校では、少ししぼって要望していると思われれます。一方、支援員を探すのに苦労しています。この支援員の仕事だけで、安定した生活を保障できるわけではありませので、この制度が安定していけるように運営していきたいと考えています。
学 務 課	発達障害の子どもはどうしても叱られることが多く、自尊心が高まらずに、いろいろな面で学校生活を阻害する要因になって不登校になっていくケースが多いです。そのような不登校の子どもが、中学校、高校、その後に、ニートや引きこもりにならないように、学校や相談室ではがんばっているところです。そのような子どもたちには、より細やかな、人と接

会 議 記 録	
	<p>する機会を提供していかないと、なかなか改善されません。このようなことは小中学校期に手を打たないと、その後は手をかけられなくなってしまいます。ということで、支援員の意義は大きいと思います。</p>
浅野委員	<p>支援が必要な子どもとそうではない子どもがいっしょに生活させることで、子ども同士の理解が深まることからとても重要だと思います。保護者からも切実な思いで相談を受けたりします。現場で子ども一人ひとりを見なければわからないことで、子ども一人ひとりの障害の程度や種類によって支援、対応が違います。小さいころからいろいろな子どもがいっしょに生活することが大事で、そのような経験から偏見も少なくなると思います。</p>
事務局 (総務課)	<p>支援員の確保も難しいようですが、実際の状況はどうでしょうか。</p>
教育長	<p>募集して足りなければ、学校経験者などに声をかけて集めている状況です。支援員はあくまで通常学級の支援が必要な子どものサポートをするものと考えていただければと思います。</p>
副町長	<p>支援員を雇うにあたって、国や県からの補助はありますか。</p>
学務課	<p>交付税算入はあります。</p>
町長	<p>保育園などでは、支援が必要な子どもがいる場合、国から特別措置費があると聞いたことがありますか。</p>

会 議 記 録

浅野委員	給付費は入っていると思います。
教育長	特別支援学級に対しては、県が先生を配置しますので、町の予算を使う必要はないものです。なお、通常学級の支援が必要な子どもについては、最終的には保護者の判断により特別支援学級にするかどうかを決めます。
小向委員	不登校の子どもについて、学校にいる間は学校でなんらかの手助けはできますが、学校を離れるとその後のフォローが困難になります。
木村委員	相談室の状況ですが、親と学校からの相談を受けて対応しています。引きこもりだけはさけたいので、学校にいけない子どもについては相談室を利用させていただいています。発達障害の子どもがすべて不登校になるわけではありませんが、確率は高いです。おいらせ町の相談室としては、相談員1人から2人に増えたことは子どもたちにとってよいことだと思います。最近、相談件数等が激増していることから、もし可能であれば相談員をさらに増やすことで、子どもたちを救い上げることができると思います。
小向委員	発達障害の子どもについては、就学指導委員会で通常学級、特別支援学級、特別支援学校の判断をし、保護者へお示ししますが、最終的には親の判断となります。通常学級で生活することで無理が出てくる場合が多く、その時に支援員が必要となります。

会 議 記 録

学 務 課	就学指導委員会、今は教育支援委員会で通学先を判断して、保護者へ提案しています。令和2年度は43名、令和元年度は35名。年々増えてきている印象です。
小 向 委 員	十和田の例ですが、早めに支援すると、子どもが通常生活へ適応できていくことが可能なことから、市が幼児支援の職員を2人配置したケースもあります。ただ、幼児教育なので園の考え方や方針によるもので、一律に対応できないことが課題と感じました。
事 務 局 (総務課)	小学校から中学校に行く要望の人数が減っていますが、成長していくといくらか症状が改善されるということですか。
教 育 長	改善するかどうかわかりませんが、集団生活にいくらか慣れていくことはあります。最終的に、もし不登校のまま卒業すると、保健師など社会全体で支援する必要がでてきます。一人でも不登校をなくさなければと思います。社会の中に埋もれてしまうと、その後の支援がかなり大変な状況になると思われま
副 町 長	確認ですが、発達障害は脳機能の障害ということで医学的に証明されているなかで、脳障害が増えているのは、何が原因かわかっていたら教えてほしいです。
学 務 課	昔と比べ基準・分類が変わってきたものと思います。脳機能の障害ではありますが、心の問題や感じ方、明るさや暗さなども人それぞれ

会 議 記 録	
	れで複雑に絡んでいることだと思います。
小 向 委 員	昔はLD（学習障害）という分類はありませんでした。はっきり分類されたことで人数が増えてきているように思います。特別支援教育が、昔の特殊教育のイメージが今も強く残っており、世間体が悪いとか、そこから抜け出さなければならないと思います。
教 育 長	障害判定ははっきりでてくるわけではありません。だからこそ、医師など検査に関わった人の総合的な判断から、特別支援学級か養護学校かなどを決めているわけです。医師によって診断が違う場合もあり、とても難しいことだと思います。広汎性発達障害という呼び方も、そういうところからきているものかと思います。
副 町 長	発達障害の子どもは、特殊な分野で、例えば芸術の分野などで能力を発揮しているようなイメージもありますが、いかがですか。
学 務 課	そういう子どももいます。東京大学に入っている生徒の何割かは発達障害を持っていると聞いたことがあります。
事 務 局 (総務課)	その他ありませんか。 なければこれで議事の1を終わります。 次の議事に入りたいと思います。議事の2「児童生徒の安全対策について」学務課から説明をお願いします。
学 務 課	議事 2 児童生徒の安全対策について

会 議 記 録	
	(資料を説明)
事 務 局 (総務課)	ただいま説明がありました。それでは、本件についてご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。
松 林 委 員	前回も防災無線を議題にしていしましたが、防災無線はどういう時に使えるのかを教えてください。
まちづくり 防災課	防災行政用無線は、災害時のアナウンスや、町民全体へ周知したいことがあれば、内容に応じて流すことは可能です。今回の八戸市、三沢市であった事件のケースも、必要であれば流すことは可能です。現状は流しておりません。防災行政用無線は、各部署からの依頼があり流すケースが多いですが、今回のケースは所管課などが整理されていないことによるものかと思います。
教 育 長	理解できました。これはもしかすると、こちらから依頼すれば応じてもらえる可能性があるということですか。
まちづくり 防災課	可能性はありますが、事件となりますと、警察の調査に影響があるため、すべてをオープンにできるかどうか、警察への確認や許可などが必要だと思います。人命にかかわることであれば、そのようなことは言っていられないということもありますが、警察との調整は必要かと思います。
教 育 長	警察からの情報もなかなか入ってこない現状もありますが、やはり、子どもの命を預かる

会 議 記 録

	<p>立場としては、使えるものは何でも使いたいです。防災無線は、メールで伝えきれない部分をカバーできるものとしても有効なものと考えています。ぜひ、使わせていただきたいので、これからも相談に応じてほしいと思います。東日本大震災の時、親の迎いの放送をお願いしましたが、放送してもらえませんでした。いまだに残念な気持ちがあります。やはり、使えるものは使って、最終的には子どもの命を守ること。多少の批判を受けても、何事もなく終わってもらえれば、それに越したことはないと思います。命が亡くなってしまえばどうにもなりません。それだけは避けなければなりません。後で、まちづくり防災課と学校や教育委員会との相談の機会を設けさせていただければと思います。</p>
<p>まちづくり 防災課</p>	<p>参考まで、警察からも振り込め詐欺などの依頼があり、よく放送しています。行方不明の関係もあります。今回のケースは、犯人を捕まえるための放送なのか、子どもたちの安全を守るための周知だけの放送なのかを整理しなければならぬと思います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>この2つの事例を基に、放送する文面などを考えておいてもいいのかなと思います。警察からもいろいろ聞きながら内容を詰めておいて、いざとなったらそういう動きができればと思います。</p>
<p>学 務 課</p>	<p>警察からの第一報がどこの課に入るかにも</p>

会 議 記 録	
	<p>よりますが、強盗や殺人、傷害などによる危険性は子どもだけのことではないので、警察からの連絡経路は学務課なりには確認していますが、町としても確認が必要だと思います。</p>
まちづくり防災課	<p>そこは当課でも確認してみます。</p>
町 長	<p>逆に、放送して犯人へ刺激してしまう可能性はありませんか。そこは心配してしまいます。</p>
教 育 長	<p>そのような可能性がないとは言えませんが、周知することも大事だと思います。</p>
小 向 委 員	<p>ケースバイケースですが、ある程度基本線をもっておく必要があると思います。ケースに応じて、警察にその都度相談し確認を取るのであれば、少しは放送しやすくなるのではと思います。</p>
事 務 局 (総務課)	<p>私がまちづくり防災課時代に、警察から放送しないでほしいと言われたことがあったと記憶しています。今はわかりませんが、その当時は放送ではなく、ほっとするメールを使い関係者のみに情報提供したように思います。今後、事件性のあるケースについては警察と内容を詰めておく必要があると思います。</p>
副 町 長	<p>防災行政用無線を使うことはいいことだと思います。ただ、その前にできることとして、ほっとするメールを部活動等の指導者も登録してくれるといいのではと思います。それと、防犯カメラの件ですが、今後必要性は高まっ</p>

会 議 記 録	
	ていくと思いますが、現在、通学路の途上に、例えばコンビニなど、防犯カメラがどこに何台付いているか確認はしているのでしょうか。必要な場所や台数などをみんなで確認する必要があると思います。
学 務 課	現在、学校敷地など学校全体に防犯カメラの設置を進めていくことを優先しています。2年ほど前に、警察といっしょに必要な場所を何か所か確認した経緯はあります。
副 町 長	防犯カメラは犯罪の抑止効果が非常にあると認識しています。
事 務 局 (総務課)	その他皆様からありませんか。 ないようなので、以上で今回の議事2件を終了したいと思います。
事 務 局 (総務課)	○意見交換 続きまして意見交換に入ります。今回の議事以外で、意見や情報提供等があれば発言をお願いします。
教 育 長	まずは、こういう機会を設けていただきありがとうございます。去年も話したことですが、この総合教育会議の意義があると思います。町全体で子どもたちのことを考えましょうということだと思います。例えば、町長部局から教育委員会に対し、こういうことができているのではないかとか、このくらい予算を用意するからこれをやってみたらどうかとか、そういう提案があってもいいのではと思います。教育現場からの要望をきいてもらえ

会 議 記 録	
	<p>るチャンスもありがたいですが、せっかく総合教育会議が設けられていますので、有意義なものにできればと思います。いずれにしても今日はありがとうございました。これからもいろいろな知恵を出し合っていければと思います。</p>
財 政 管 財 課	<p>財政担当としては、現在の財政状況は絶句するような状況で、ご意見等を盛り下げるような発言は控えようと思っていました。今のような厳しい財政状況がずっと続くわけではないと思っておりますので、このような会議を継続して情報共有していければと思います。</p>
町 長	<p>皆様から強力な要請があれば、別の予算を縮小してその要請に応えることもあるものと考えていますので、よろしくお願いします。</p>
副 町 長	<p>小川原湖青年の家への運営負担の関係ですが、その中のライブラリー運営に関しては、人件費を抑制し、令和3年度の当町が負担する金額が半分に減額しました。青年の家については、引き続き関係市町村と話し合いを持ちながら進めていきますので、進展があるのかなと思っています。</p>
事 務 局 (総務課)	<p>その他皆様からありませんか。 ないようですので、これを持ちまして会議を終了したいと思います。委員の皆様にはご多用の中ご出席いただき、そして、貴重なご意見をいただき厚くお礼申し上げます。</p>

会 議 記 録

最後に修礼を行いますので、ご起立をお願いいたします。

(礼) ありがとうございました。

大変お疲れ様でした。